

京滋・奈良エリア 消費者教育タスクチーム #10

概要

日程：2月22日(水) 18:00~21:00
場所：Zoom

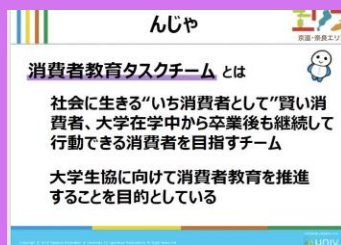
参加者

同志社(3)、京府大(1)、龍谷大(1)、奈良女(1)
佛教大(2)、コンシューマーズ京都(1)、京都府職員(1)
BK職員(1)、BK学生事務局(3)、オブザーバー(1)
計4会員16名

01 消費者教育に取り組む意義

大学生に身近に感じてもらうためには？

参加者自身がもつ消費者教育に対するイメージなどを共有し、大学生に消費者教育を身近に感じてもらうためには、何ができるかについて話し合いました。参加者がタスクチームの活動を通して、自身の消費行動を考え、それを身近な人に伝えていくことが重要だといった意見ができました。



大学生にとって身近な話題からのアプローチが大切だと思った。(奈良女2年)

02 1年間を振り返って

各メンバーが活動を振り返って

23年度で行って来たボランティア交流会や出前講座の準備、ブロック大会の出展など、1年間の振り返りを行いました。また、23年度のメンバーからタスクチームで頑張ったこと・楽しかったことなどの活動への想いを話してもらいました。24年度のビジョンが見え、各メンバーが次年度に向けて、頑張りたいことを見つけることができました。

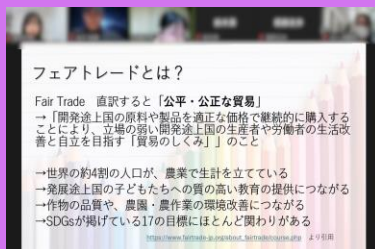


1年間を振り返ったうえで、24年度でやりたいことが見つかったので頑張りたい。(佛教大2年)

03 持ち寄り学習会

フェアトレードについて

フェアトレードについてメンバーから持ち寄り学習会が行われました。コーヒー豆やカカオ豆、コットンやバナナなど様々な種類があることを知りました。また、ラベルの基準を知ることで、普段の消費行動の中でも、フェアトレード製品を買ってみたいといった声も聞かれました。学習会を通じて、生産者の労働環境を支援する消費行動を考えるきっかけになっていました。



フェアトレード商品の種類の多さに驚いた。機会があれば買ってみよう。(佛教大3年)



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [松井 翔輝]
Matsui.Shoki@univ.coop